

## 2025/2026 年 IEEE 東京支部役員・理事候補者追加指名公告結果

2024年7月31日発行のTokyo Bulletin No.157で公告されていた「候補者の追加指名」に対するお申し出はございませんでした。次回の定期総会において、Tokyo Bulletin No.157で公告されていた役員・理事の選出を決議する予定です。

上記役員・理事の任期は 2025 年 1 月 1 日から 2 年間となります。

## 東京支部 LMAG 主催（TPC 共催）講演会報告

本講演会は東京支部 LMAG 主催、同 TPC 共催、電子情報通信学会の協賛にて、2024 年 8 月 21 日（水）15:00 から、Zoom Webinar にて開催されました。講師は三好建正氏（理化学研究所 チームリーダー/主任研究員）で、講演タイトルは、「ビッグデータ同化：ゲリラ豪雨予測から予測科学へ」でした。参加者総数 178 名（うち IEEE 会員 109 名）と多くの方が参加されました。

データ同化は、シミュレーションと現実世界をシンクロし、予測や制御を行う要であり、天気予報で高度に発展してきましたが、近年デジタルツインを実現する方法として様々な分野に応用が広がっています。理化学研究所では、スーパーコンピュータ「京」や「富岳」、フェーズドアレイ気象レーダや衛星データなどの新世代技術を組み合わせ、ゲリラ豪雨や、台風、集中豪雨の予測革新を切り拓いてきました。2021 年東京オリンピック・パラリンピックの際には、スーパーコンピュータ「富岳」の威力を生かした「ビッグデータ同化」により、30 秒ごとに更新する世界随一のゲリラ豪雨予測のリアルタイム実証実験に成功しました。また予測と制御は密接に関係しており、データ同化は最適制御の方法に基づいています。予測可能性研究が進み、天気予報の精度が向上してきたことを背景に、内閣府が主導するムーンショット目標 8 では講演者が旗振り役となって気象制御に向けた取り組みも始まっています。さらに今後、気象予測を超え、様々な分野の予測制御困難に立ち向かう「予測科学」というべき新たな展望が見えてきています。

気象予測、気象制御に向けた興味深い講演でした。講演後も多くの質問があり、盛り上がった講演会となりました。



講演する三好建正氏  
(スクリーンショット)



ビッグデータ同化  
(スクリーンショット)

(報告：LMAG-Tokyo 林秀樹)

## 2024年 第05回東京支部講演会開催

東京支部 TPC (Technical Program Committee)主催で、8月2日(火) 15:00~16:30において、バーチャル会議システム Zoom Webinar により、2024年第5回 東京支部講演会を開催いたしました(共催: IEEE 東京支部 L MAG(Life Members Affinity Group)、協賛: 電子情報通信学会)。約110名が参加されました。

本講演会では、産業技術総合研究所サイバーフィジカルセキュリティ研究センター副研究センター長で、2023年に IEEE Fellow を受賞された川村 信一様をお招きし、「コスト効率が良くセキュアな暗号」と題してご講演を頂きました。DVD レコーダ、IC カード、量子暗号の実現に貢献したセキュリティ技術について、様々な事例を交えてご解説を頂きました。また、ご自身の受賞経験をもとに、IEEE Fellow 制度についてもご紹介を頂きました。

今回は、今年に入って初めて Zoom Webinar のオンラインとして開催いたしました。今後は、対面での交流の場としてもご活用頂けるよう、ハイブリッド開催も含めて設定して参りたいと思います。



(報告: Technical Program Committee Secretary 秋田 耕司)